

ふらっと.come!

令和6年8月14日 第85号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



残暑お見舞い申し上げます

基幹相談支援センター
統括所長 清水 博和



パリオリンピックで日本選手の活躍に一喜一憂し、寝不足を抱えつつ日中の暑さと奮闘された事と察します。皆さんが応援していた種目は如何でしたか。当方はフレーズとして気に止まったものとして馬術競技に参加された方々が自称「初老ジャパン」と称された事に洒落っ気を感じました。また、アーバンスポーツとしてスケートボードやブレイキングなどの競技で特に若い世代の活躍に感銘を受けました。月末からパラリンピックが始まりますので応援します。

先月の話になりますが、東海地方のとある市の基幹相談支援センターへ視察に行ってきました。相談支援の研修会に参加するにあたり、以前から気になっていた県の取り組みやその市の実際をお聞きし、船橋で参考になればと思い伺って来ました。目的として市の基幹相談支援センターとしての目的や役割、虐待防止センターの取り組み、地域生活支援拠点の運用等々で2時間以上お付き合いをして頂きました。改めて設置主体である市の考え方や地域資源との関わり次第で色々なカラーのセンターが生まれるものだと感じてきました。千葉県にはH16年に中核地域生活支援センターの設置運用が開始され、その体制や取り組みを参考にしつつ各市町基幹相談支援センターの設置に影響を与えたと感じており、当方もその背中を追いつつ日々困惑と奮闘の中で対応してきた事を覚えております。

さて、仮に（その市をI市とする）I市基幹相談支援センターは人口43万人、委託の総合相談が6か所あり地域別で相談対応をされています。その各委託相談から出向という位置づけでI市基幹相談支援センターに勤務されています。また、行政からも半日ずつ職員がセンターで勤務する形態を取っており、官民共同のセンターという印象で特に虐待通報等への対応（コアメンバー会議）が迅速に取られる点は素晴らしいと感じました。また、各委託相談を中心にケース対応を行い、困難事例（事業者対応）や虐待+触法関係を中心に対応されており、基幹の位置づけや役割が面の一部であると印象が強くなりました。とかく困難や緊急的事案は「基幹や拠点の役割」という認識がある中で、この様にそれぞれが地域ですべき役割「活躍の場」を作りそこをサポートする形は本市とは色合いが違いました。良し悪しの基準ではなく、市内事業所におけるI市の取り組みの理解が浸透し、1つの事業所だけでの対応ではなく関係機関での対応を主眼におき、連携を図れている事は望ましい形の一つではと考えます。

文中にも記しましたが、各市町村の実態（社会資源や施策等含）によりその色合いが異なるという中で、船橋市はどの様な色合いなのだろう？と改めて考えつつ船橋市を含めた取り組みもそう引けを取らないと思っておりますが、基幹としては要努力と思い帰路につきました。

よろしくお願いいたします

船橋市役所 障害福祉課
計画係係長 鈴木 大悟



日頃より、障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
令和6年4月1日付で、障害福祉課計画係長として着任いたしました鈴木と申します。

私は平成17年4月に入庁し、今回初めて障害福祉の分野を担当させていただくこととなりました。

一つ前の職場は中央公民館で、公民館では館の日々の運営や事業の企画を担当しておりました。ちょうど次年度に行いたい事業について企画をしていたのですが、私の力を入れていた講座の一つに「共生社会実現のための取組の充実」という観点から、実際に障害がある方の経験談・体験談等を通し、講座に参加された方が障害に対してより理解を深めることができるような講座を企画していたところでした。

こちらに着任して間もなく、私が所属するこの計画系の業務の一つにも、障害者週間記念事業等を通して「障害や障害のある人への理解」を促進していこうという動きがあることを知り、様々なところで仕事の繋がりがあることに、勝手ながらご縁を感じた次第です。

そして、ふらっと船橋の清水所長には今年度から始まる地域連携推進会議における市としての取り組み方についてのご相談や、自立支援協議会等様々な場でご助言をいただき、お力添えをいただいておりますこと、御礼申し上げます。

まだまだ勉強不足なところが多く、皆様にはご迷惑をお掛けすることも多いかと存じますが、日々努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

船橋市役所 障害福祉課
野澤 凜花



はじめまして。今年の4月に船橋市役所へ入庁し、障害福祉課相談支援係へ配属されました野澤と申します。

大学在学中には、発達障害の方を対象にした学習塾で4年間アルバイトをしていました。幼稚園生から社会人まで幅広い年代の方を担当していたため、自分と異なるバックグラウンドを持つ方と関わる機会が多くありました。自分にはなかった考えや生き方を知ることができ、とても楽しかったです。このアルバイトでの経験が福祉に興味を持つきっかけになり、大学卒業後に専門学校へ通って社会福祉士の資格を取得しました。

この塾では研修を頻繁に行っており、指導方法についてよく話し合っていました。その中で印象に残っているのは、「障害の有無にかかわらず、みんな人の助けがないと生きていけないという前提を忘れてはいけないよ。」という塾長の言葉です。その話を聞くまでは、ひとりで生活を送れるようにすることが自立だと考えていました。しかし、人に頼ることは自然なことだと気づき、私自身も救われた気持ちになりました。障害がある方は特に困りごとを抱えていることが多いと思います。気軽に助けを求められる環境がもっと増えればと考えています。

働き始めて4か月経ちますが、市民の方から相談を受けることが多くありました。知識不足でまだまだ頼りない私ですが、相手の方の気持ちに真摯に向き合い、信頼していただけるように努めて参ります。よろしくお願いいたします。